





ALLY(アライ)になろう

ALLYとは味方・同盟を示す英単語の ally に由来する言葉で、セクシュアルマイノリティを理解し支援する人のことです。

LGBTを理解し支援する人(アライ)が増えることは、LGBTの生きやすさにつながります。

今日からできること

-  LGBTについて正しい知識を持つ。
-  多様な性のあり方があることを理解し互いを尊重し合おう。
-  LGBTのシンボルカラー*を身にかけよう。
-  性別を限定するような言葉や LGBTを差別するような言葉を使わないようにしましょう。

(※) LGBTのシンボルカラー

赤、橙、黄、緑、青、紫の6色の虹は、LGBTを含むセクシュアルマイノリティに理解を示すシンボルカラーとして世界中で使われています。身近なところに飾ったり、身につけたりすることで、LGBTへの理解を示すことにもつながります。

豊明市の取り組み

「LGBT ともに生きる宣言」

多様な生き方を互いに認め合い、セクシュアルマイノリティの配慮と理解の浸透に努めることとして、平成29年8月22日豊明市長により宣言されました。

「豊明市パートナーシップ宣誓制度」

お互いをパートナーとする2人が、その生活を共にしていることを約束した関係「パートナーシップ」を結んでいることを市が認める制度。性的マイノリティを含む法律上の結婚ができない人たちの“2人でいたい”という意味を尊重し、宣誓したことを市が証明することで、当事者が抱えるさまざまな不安や困難を少しでも軽くすることを目的とし、令和2年5月1日に導入されました。

相談機関の紹介

①レインボー・ホットライン

0120-51-9181

電話相談 毎月第1月曜日 19時~22時

LINE相談 毎週月曜日 19時~22時(受付は21時まで)

・特定非営利活動法人 PROUD LIFE

②よりそいホットライン

0120-279-338

24時間電話無料

・一般社団法人社会的包摂サポートセンター

③AGP 電話相談

050-5806-7216

「こころの相談」毎週火曜日 20時~22時

LGBTQ+の当事者の悩みや心の問題、またそのご家族の悩みについて対応します。

・同性愛者医療・福祉・教育・カウンセリング専門家会議

④みんなの人権110番

0570-003-110

平日8時30分~17時15分

・法務局・地方法務局

⑤悩み困りごと相談

広報とよあけ掲載

・豊明市人権擁護委員 問合せ 秘書広報課 0562-92-8360

LGBT 基本のキホン だれもが自分らしく <ポケットブック>

発行 豊明市 市民生活部 市民協働課

〒470-1195 豊明市新田町子持松1番地1

TEL: 0562-92-8306 FAX: 0562-92-1141

E-mail: kyodo@city.toyoake.lg.jp

知っておきたい

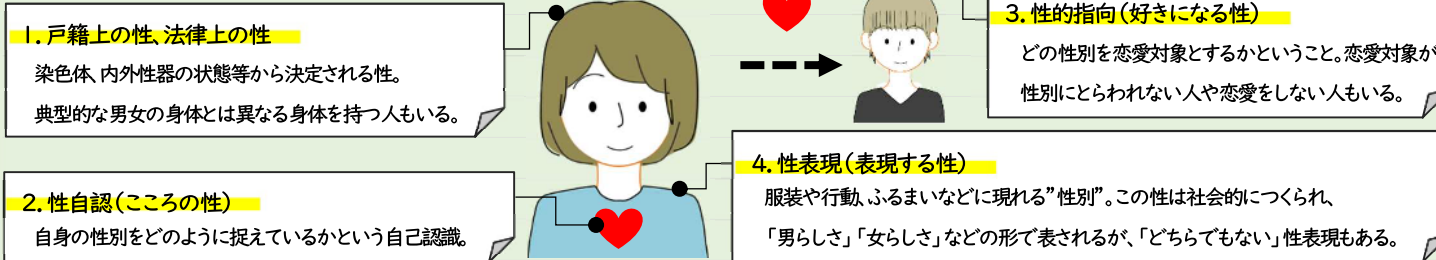
多様な性

だれもが
自分らしく

豊明市

LGBTの基礎知識

性のあり方 セクシュアリティは以下の4つの要素で構成されています。



1人ひとり4つの要素の構成・バランスはさまざま、多様な性のあり方を表現できます。

LGBTとは? 以下の4つの頭文字を組み合わせたセクシュアルマイノリティの総称の1つ。

性的指向 (好きになる性)	L	esbian	レズビアン	女性同性愛者。性自認が女性で、女性を好きになる人。
	G	ay	ゲイ	男性同性愛者。性自認が男性で、男性を好きになる人。
	B	isexual	バイセクシュアル	両性愛者。男性も女性も好きになる人。
性自認 (こころの性)	T	ransgender	トランスジェンダー	戸籍の性別と性自認が一致していない人。 他にも多様な性があり、Questioning 等と合わせて、LGBTQ、LGBTQ+と表現されることもあります。
	Q	uestioning	クエスチョニング	自らの性のあり方等について特性の枠に属さない人やわからない人。

SOGI(ソジ) Sexual Orientation & Gender Identity の略称。
(性的指向 = 好きになる性) (性自認 = こころの性)

「LGBT」がLGBTという“人”を指す言葉であるのに対して、「SOGI」は“性的指向/性自認”という概念を指す言葉という違いがあります。



このようにセクシュアルマイノリティの方もそうでない方も、だれもが「SOGI」というアイデンティティを持っています。

LGBTの「困りごと」や「不安」

- 周りから偏見の目で見られる。
- 好きな異性のタイプを聞かれて困った。
- 同じLGBTの人と会う機会が少ない。
- LGBTであることを知られるのが怖い。
- 書類などの性別欄の記載に戸惑う。
- 誰にも相談できず、家族や友人から孤立する。
- 「ホモ」「レズ」「オカマ」など差別的表現を聞くと悲しい気持ちになる。
- 「トイレ」や「制服」など男女別となるものは使いにくい。

カミングアウトを受けたら?

カミングアウト 性的指向や性自認など、自分自身の性のあり方を誰かに打ち明けること。

自分の性のあり方を打ち明けることにとても勇気がいる人もいます。もし、カミングアウトを受けたら、信頼し勇気を持って打ち明けてくれたのだと理解し、「話してくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝えましょう。そして、「何か困っていることはある?」と聞いてみるのも良いでしょう。

アウティングに気をつけよう

アウティング 本人の了承を得ずに、公にしていない性的指向や性自認などの秘密を第三者に話してしまうこと。

たとえカミングアウトを受けた人に悪気はなくても本人を深く傷つけてしまうこともあります。「誰に打ち明けたのか」「どこまで話しているのか」など、本人に確認・了解を得るようにしましょう。